

中国の理系学生採用仲介

早大発V B 研修・生活支援も代行

早稲田大学発ベンチャー・トナース(東京・新宿、国の大学に在籍する理工系のフアーイースト・パ 朱偉徳社長)は9月、中国系学生を日本企業に紹介

するサービスを始め。人材の発掘から日本語教育、生活サポートまでを一括して代行する。中国人エンジニアを確保したが、採用にかかる手間や費用の問題で手をつけられずにいる企業の需要は大きいと判断した。元ソニー人事部長で、中国新卒者の本社大量採用を担当し、現在は中国・清華大学継続教育学院顧問の中田研一郎氏を招聘。同氏のネットワークを活用し、清華大や北京大学、上海交通大学など、中国の著名大学の修士・博士課程の学生を中心に紹介する。

万、修士は150万円の成功報酬を受け取る。現地での日本語、異文化研修費用込みの価格で、来日・入社後の研修も別途、有料で請け負う。初年度は20人、来年度は50、100人の紹介を見込む。中国の博士号の取得者は米国に次いで世界2位。一方、学生数の急増は就職難を招いており、日本企業が優秀な人材を獲得しやすい状況。ただ企業が現地で直接採用活動をするには、採用担当者との渡航・滞在費用やコネクションが必要になる。

サービスはまず、企業から必要な人材像を聞き取り調査し、対象大学や学部、研究室を選定。学生を推薦してもらう。適性診断テストなどで候補者を選抜したうえで企業に紹介する。採否は企業の判断に委ねる。

最初のコンサルティング料は50万円。採用が決まれば、博士なら180

掲載日 2009年09月24日(木) 日経産業新聞1面